

輝いて明日へ

一人ひとりの命を大切に
 人権尊重の理念に基づいた
 利用者支援を行い
 誰もが豊かに暮らせる
 地域社会をつくります

2021. 10. 1

感染拡大防止のための対応

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会
 理事長 田部井 眞

例えば、ご家族に PCR 検査が実施された場合、PCR 検査の結果が出るまでは、通所や出勤は見合わせていただきます。検査結果が陰性であれば通常どおりになります。

陽性の場合、保健所介入による濃厚接触者判定が出るまでの間は、通所、出勤を原則見合わせるようになります。保健所の介入に時間がかかっています。

上記のような場合に、結果や判定が出るまでの通所や送迎車運行の対応等は、施設長、園長が状況に応じた判断をすることとなります。

以前の事例でも、陽性者と同室にいたマスクをしていないご利用者でも、状況により濃厚接触者の判定がされないことがありました。そのような場合でも、安心のため、法人負担で PCR 検査を実施して陰性を確認するなどの対応を行っています。安全を最優先に考えなければなりません。行き過ぎた対応は個別の権利を侵害することもありますので、慎重に安全を担保する判断を行っていきます。

このように、感染防止の観点から、重度の障害により通院が容易でないこと、重症化のリスクが高いことなど、現場では感染防止と通所保障のバランスをとることに苦慮しています。

コロナがインフルエンザ並みになったとしても、感染防止や健康管理における対応では、多少判断が緩くなったとしても、ご利用者、職員の感染防止のためには同様な判断が続いていくことになると考えています。

基本は感染しない、感染させないために、手洗い、うがい、共有部分の消毒等を十分に行うことです。ワクチン接種も進み、行動制限の緩和が行われたとしても、感染防止の行動をしながら元の生活に近づけていくことが大切です。

感染状況に関する情報は、個人情報保護を踏まえ、迅速正確にお伝えしていくように努めていき、関係機関と連携し感染防止対応を迅速に行い、感染を広げないように努めていきます。

※ 法人全体のワクチン接種は、3か所の事業所で職場接種を実施、9/10 現在ご利用者職員合わせて 87.3%の方が接種を完了しています。



コロナ禍の中で、職員採用の在り方も大きく変わってきています。

昨年は対面での面接のリスクから採用活動が例年に比べ少なくなっていました。そこで、今年度からは、WEBによる面接をボワ・すみれ福祉会でも導入することになりました。

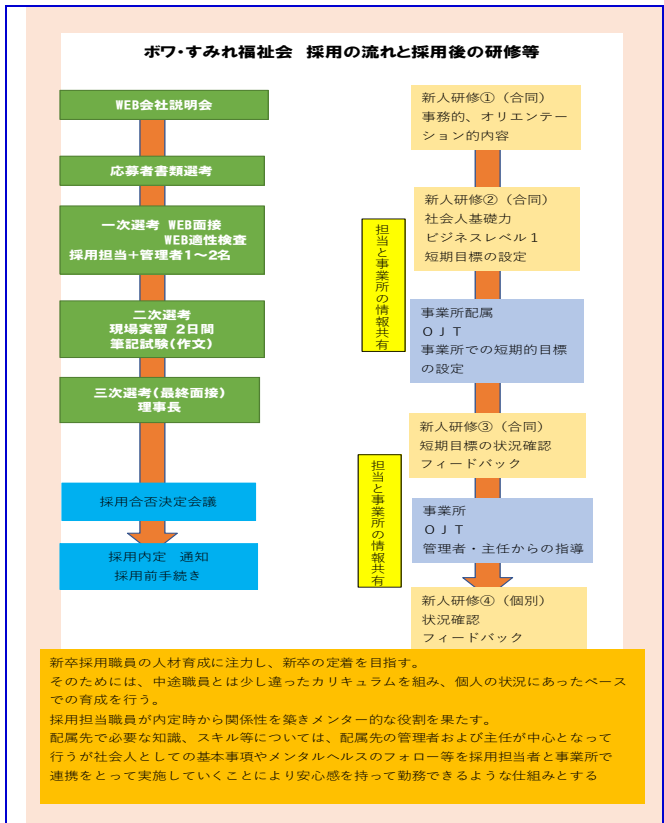
今年度のフローとしては【スタート】WEB会社説明会 【1】書類選考 【2】WEB一次面接、WEB適性検査 【3】現場実習2日間、筆記試験（作文）【4】最終面接【5】内定という形に少し変更いたしました。対面の頻度を極力減らしながらも、現場実習をすることによってミスマッチを減らし、良い人材の確保を目指しています。

WEB使用開始当初、慣れていないWEB面接システムの扱いにオロオロしながらも、なんとか会社説明会を行っていき、回数を重ねることで少しずつ慣れてきたところです。

今のWEB面接システムにはメリット、デメリットがあります。メリットとしては、①特定の会場を必要としないこと。②通信環境と時間さえあれば細かな調整ができること。③地方の方など、実距離の遠い方でも同じ状況で話ができること。④面接官も自分の事業所から参加できることなどが挙げられます。デメリットとしては、①WEB面接では、どちらかの回線環境によって、タイムラグが生じて十分にコミュニケーションが取れなかったり、面接の途中で切断されてしまったりといったトラブルが起こる可能性がある事。②会社の雰囲気や本人の全体像が伝わりにくいこと。面接をしている中で、応募者の「熱意」「やる気」のようなものを感じ取り、それが判断材料になる事も多々ありますが、それには、「表情」、「しぐさ」、「声の大きさ・抑揚」など、話していることがら以外の情報（＝非言語情報）が大きく影響しています。WEBを通して聞こえる声や、見える表情・動きからは、実際に会って話すときと比べると感情が読み取りにくいので、WEB面接に慣れていないと、採用についての判断の見極めが難しく感じています。

このようにメリットもデメリットも含め、法人の採用の在り方なども今後も必要に応じて変化していくことになるとは思いますが、法人の大切な仲間を募っていけるよう努めてまいります。

(大高 弘之)





花の家夏祭り開催！

皆さんは夏と言えば何を思い浮かべますか？そう！夏祭りですね！・・・
 ということで、8月24日～26日の3日間で縁日をテーマにした夏祭りを開催しました。

ペットボトルキャップで作った金魚すくいや的当てゲーム、ジュースがもらえるあみだくじなどが出店。浴衣と光るブレスレットを身につけ縁日らしい装いで、いざ、夏祭りへ！

カラフルな金魚たちに悪戦苦闘したり、的にボールを見事に命中させて全部倒したり・・・あちこちで「おいしい！」「よし！」と声が飛び交い、大盛り上がりでした。

また、ゲームの他にもフォトスポットとして特大顔はめパネルも登場。今年の夏と言えばオリンピック！聖火ランナーの顔はめパネルでパシャリ。フルーツの顔はめパネルも「かわいい～！」と大人気でした。

最後にはお土産として駄菓子と線香花火をプレゼント。線香花火の美しく、そして儚げに灯る姿は夏の終わりを感じさせます。ご自宅でも夏祭りの続きを楽しんでいただけましたか？

各ブースの創作物や看板、お土産の駄菓子と線香花火の袋詰め、会場の飾り付けなどは活動の時間を使って花の家の全員で作りました。密を避けるため少人数ずつでの開催となりましたが、花の家のチームワークで素敵な夏祭りとなりました。 (原 沙織)



新任職員あいさつ

始めまして。8月より社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会に入職して、花の家へ配属となりました、萩原愛梨と申します。

私は高校生まで地元山梨で育ちました。高校はサッカーの中田英寿選手と同じ母校で、私も幼いころから、バスケットボール、ハンドボールとスポーツに親しんで育ちました。山梨は盆地で夏は暑く冬は寒い…そして山に囲まれているので、交通の便も悪いです。都会への憧れを漠然と持ちながら、もともと人と関わるのが好きな私は神奈川県福祉の専門学校に進学しました。

そこでの出会いは私の人生において、大きな影響を与えてくれるものでした。全く違う環境で育ったけれど気の合う友人たち、福祉の先輩である学校の先生方、お世話になった実習指導者の方との出会い、地元を出て分かる、山梨県の良さ。素敵な出会いを通して、人生が豊かになるという経験をしました。

これまでの経験を通して感じるのは、福祉の世界ではたくさんの人とより深いかわりが持てるということです。これからボワ・すみれ福祉会での経験を通して出会うご利用者や職員の皆さんから色々なことを学び、いつか自分も出会ったご利用者の人生を今よりも豊かにすることが出来る職員を目指していきたいです。これからどうぞよろしくお願い致します。





リサイクルのお仕事

クッカ広場では地域の皆さまよりご家庭で眠っている品々をご提供いただき、再生した後お店に並べ販売する、リサイクル事業を仕事として行っています。

今回は品物の受入からお店に出すまでをご紹介します！

(大高 星子)

① 持込対応

持込受付の担当ご利用者は品物を受取り、お客様に「確認するため少しお待ちください」とお呼び出し用の番号札をお渡しします。

たくさんのお持込みありがとうございます。
お持込み品の確認は職員がします。



② 品物から商品へ

提供された品物は作業場で点検や磨き作業を経て値分け・値付けされます。

磨き作業は隅々まで丁寧にピカピカにします。



③ ショップに商品が並びます。

値付けされた商品は種類別に陳列します。お客様が見やすいように陳列するのがポイント！



④ ショップ内のお仕事

コロナ対策中。使用した買い物かごは一個一個消毒液で拭き上げます。入店時のマスク着用や手指の消毒をお願いします、お客様に安心して買い物を楽しんでいただけるよう日々頑張っています。皆様のご来店お待ちしております。



お家で眠っているご不要な物がありましたら、クッカ広場まで！



法人よりおしらせ

「花の家まつり」「花の郷まつり」について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ご利用者、関係者の安心安全を最優先に考え、「花の家まつり」「花の郷まつり」を中止とすることを決定いたしました。

楽しみにお待ちしております皆様には大変申し訳ありませんが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

新型コロナワクチン職域接種について

社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会では、「花の家」「花の郷」「ボワ・アルモニー」を会場とし、ご利用者・職員の希望者に対し、新型コロナワクチンの職域接種を無事完了しました。

職域接種の実施にご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

職域接種は完了しましたが、これまでどおりマスクの着用や手指消毒の徹底、室内の細やかな換気等感染防止対策に努めてまいります。



理学療法士(P T)巡回について



花の郷では、年に5回、PTの先生に来ていただき、ご利用者の身体の状態を見てもらい、アドバイスを受けています。コロナ禍のため、来ていただく先生に感染対策の協力をしていただき、様々な相談をしています。

例えば、「歩行の様子が以前から変わっている気がする・・・?」「どんなマッサージをすれば良いの?」「どのような姿勢が一番、食事を安全に、美味しく食べられるの?!」など、日々の生活の中での疑問を、職員で持ち寄り、資料を準備し、先生と相談します。

相談当日は、ご利用者とも「これだと歩きにくい・・・」「この姿勢だと食べやすい!」など、確認しながら、最適な方法を見つけていきます。

この様に、相談する度「こんなマッサージがあるんだ!」「こうして介助すると、歩きやすいんだ♪」「ここにクッションやタオルを入れると、食事がしやすくなるんだ・・・」など、毎回新たな発見があり、職員一同、いい勉強になっています!!!

アドバイスを受けたら、すぐにまとめて、関わる全ての職員に周知し、日々の支援に生かします。

これからも、日々過ごしている中での小さな疑問を大切に、ご利用者がより良く過ごせるよう、先生のお力も借りながら、職員一同、頑張っています!!!
(安西 百花)

デリバリーランチ
(調理レク)

今年度、花の郷では月に一回、デリバリーランチ(調理レク)を行なっています。

コロナの感染対策で、活動は「フロア別」「グループ別」など様々な制限の中、密を避けて調理レクをしたり、ファミリーレストランのお弁当を注文したり、楽しく☆美味しく☆ランチをしています!!!ゞ(≥▽≤)/

調理レクでは、マスクが難しいご利用者もいますが、ソーシャルディスタンスを取り、手を洗い、袋に入れた生地をこね、機械を使い、麺を作ったりしました!!(/・ω・)/

デリバリーランチでは、電話やネットでファミリーレストランにメニューの予約をし、後日お店に職員が取りに行きました。コロナ禍のため、外出の活動をしていませんでしたが、オムライスや唐揚げなどを食べ、外出している気分を味わいました!!(^_^♪

(西郷 統哉)





生活介護の活動について

ボワ・アルモニー生活介護は、ご利用者の働きたい、レクレーションも充実したいという2つの要望に応えるべく、運営しております。

仕事はダイレクトメール作業にチームワークを駆使し、取り組んでおります。一つ一つをゆっくりではありますが、丁寧に進めています。コロナ禍における作業環境にも配慮し、うがい、換気の徹底、出来るだけ密を避けて作業を行っております。また手指消毒（非接触型）を昨年いち早く3台導入しました。

コロナウイルスの流行で外出行事が、ほぼ0になりましたが、別の形でレクリエーションを楽しんでいただけないかと考え、旅行会社の協力も頂き、いちご狩りを敷地内で催行することができました。

また7月には、『東京2020オリンピック・パラリンピックよろしく、アルモリンピック』も開催しました。生活をどのようなスタイルで、充実させるか、それぞれご要望は様々だと思いますが、今後も皆様の要望に近づけられるよう、頑張っております。（津田 雄大）



食育や食事の状況について



ボワ・アルモニーでは、朝から一生懸命作業を頑張っているご利用者が、毎日楽しみにして下さるランチタイムをととても大切にしています。心と身体の栄養を、たっぷりとお昼に補給して、また午後も集中して作業を頑張ってもらえるように日々考えた給食作りをしています。

まずは、食事に興味を持ち、食事の時間が楽しみになってもらうために、食育のイベントや個別対応を充実させています。個々にちょうど良い食事の量や食形態を設定し、アレルギーや服薬の関係で控えている食材には特に注意をしています。

入所したての頃は、偏食や食事のマナーが難しかった方でも、季節感のあるメニューや、リクエストメニュー、選択メニューなどを盛り込んで、楽しみのある食事を何年も積み重ねていく中で、先輩ご利用者と同様に、今では、苦手だった食材を自主的に食べられるようになったり、こぼさないようにきちんとした姿勢を確保出来るようになったり、詰め込まずにゆっくり食べることが出来るようになってきています。コロナ禍で配膳や食事時間の変更等もありましたが、その対応にも慣れてきて、残食もなく、しっかり栄養もとれて食材のロスもなく嬉しく思います。

（宮城 真理亜）



児童支援部

ボワ・コンサール

ボワ・コンサールでは、今年の夏休みにも一本杉公園に水遊びに行きました。岩がゴツゴツした少し険しい水路を登ったり下ったり、滝のように水量の多いところに体を当てる水の流れを感じたり・・・。リラククスして寝転ぶ児童もいました。みんな自分の好きな遊びを見つけて楽しみました。

公園には家族連れの方も多く、周りの人達や状況に気をつけながら楽しく遊びました。一本杉公園には下流に少し深い水のたまり場があり子どもたちも大好きなところですが、コロナ禍のためその場所以外で遊ぶルールを決めました。子どもたちもしっかりルールを守って楽しみました。

水遊びが終わると水道で体を洗ったり、手指消毒をしてから水分補給をしました。

コロナ禍でなかなか思っていた遊びをすることが難しいこともありですが、その中でも楽しく活動できればと思います。

(渡邊千春)



ボワ・フルール

年に一度の夏休み！本当であれば外出したり、外食に出かけたり、たっぷり時間が使える夏休みだからこそできる行事を色々と考えていましたが、残念ながら今年度もコロナ禍。予定していた行事を断念せざるを得ませんでした。それでもせっかくフルールを利用して時間を楽しく過ごしてもらえようにと、感染対策を行いながら、敷地内での水遊び、クッキング、夏祭りなどを行いました。水遊びは、家庭用の小型プールを2台用意し、1回に2名ずつで入り、児童同士の距離が保てるように工夫しました。プールは次の人と交代するたびに洗浄・消毒を行い、感染対策に努めました。

今年は学校でのプール授業が中止となっていたため、フルールでの水遊びを楽しみにしていた児童も多く、大盛況でした。気が付けば職員もずぶぬれになりながら一緒に水遊びを楽しみ、暑さを吹き飛ばす活動になりました。

(上田哲明)



ボワ・エール

ボワ・エールでは、夏休みの活動として園芸の寄せ植え体験を行いました。小さなポットに土をゴロゴロと入れ、2種類の観葉植物の根っこを慎重に取り出して植え替えました。バランスを整えてから土を隙間に入れてトントんと土を落ち着かせると完成です。最後は水やりも忘れずしました。暑い夏ですが、お部屋に植物があると少し涼しく感じますね。

コロナ禍のため、今年も外出を自粛しなくてはならず、夏休み最後の週はエールの室内をスーパールに見立てて、おやつのお買い物体験」を企画しました。数種類のパンやおやつの中から好きなおやつを選び、レジでお金を支払って食べました。お金と言っても本物ではなく、手作りの「エール通貨」です。300円の決められたお金のなかで、それぞれの金額を見て、工夫して食べたいものを選んでいました。100円のおかしをたくさん選んだり、100円のお金を3つ選んだりそれぞれお買い物の気分を満喫した様子でした。

(宇野敬)





グループホームはるかぜの様子や取り組みについて

グループホームはるかぜでは、現在4名のご利用者が365日利用されています。

利用されているご利用者は、ボワ・すみれ福祉会の通所施設に通われている方が1名と他法人の通所施設に通われている方が3名で、全員男性です。

平日は通所先から帰ると順番で入浴し、仕事の疲れを癒します。そして毎日楽しみの夕食、ほっと一息つけるコーヒータイトムと続き、あとは就寝まで自由に過ごし1日が終わります。

休日は近所の自動販売機で飲み物を買うのが楽しみな方、近くの畑で野菜を育ててホームの食事に提供する方、自室でゲームや読書などの趣味を楽しむ方、世話人との会話を楽しむ方など、それぞれが毎日平和に何気ない日常を過ごしています。

コロナ禍ではありますが、特別な事は何もなくても、穏やかで変わらない日々感謝です。外出や買い物は中々難しい状況ですが、誕生日にはみんなでケーキを食べてお祝いをしました。

今はまだ我慢の時…テレビや雑誌をみながら、コロナが落ち着いたらやりたいこと、行きたい場所について話をしながら計画を練り、楽しみに待っています。ご利用者の皆様も世話人も出勤時、帰宅時の手指消毒、マスク着用の確認、会話やソーシャルディスタンスを意識することなど、自身で行う感染症対策に取り組んでいます。



(松尾 光彦)

ボワ・すみれ福祉会後援会

第1回 役員会報告

会員を募集しております

本年度も新型コロナウイルスの為、なかなか役員会開催が難しく、令和3年7月20日にやっと第1回役員会を、新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催する事が出来ました。

本年度の主な事業活動予定についてご報告いたします。

- ① 行事・イベント参加については、法人の開催に合わせて参加協力する。
- ② 各施設の売店にて後援会品の販売をする。各施設の品物も販売しておりますので、合わせてご購入ください。
- ③ 本年度もお中元・お歳暮用に商品を販売いたしますのでご購入ください。

皆様より変わらずのご支援ご協力を賜ります様お願い致します。

本年度の寄付金事業について

本年度の寄付金は、金30万円を法人に寄付致す事と致します。法人と検討しながら、内容を決定致します。

今後も、皆様からの支援をご利用者に繋げていきたいと思っております。決定事項は、次回広報誌にて改めましてご報告させていただきます。

編集後記

ようやくしのぎやすい季節となってきました。先日、部屋の窓を開けていると、近所の金木犀の香りがしてきました。今はまだ、外出等が難しい状況ですが、自宅にいても秋を感じることができ、香りにも癒された出来事でした。感染者数は減少していますが、引き続き感染予防、頑張りましょう!! (松浦 綾子)

発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会 理事長 田部井 眞



BOWA SUMIRE

東京都町田市下小山田町 3267-2

TEL : 042-797-6004(代) / FAX : 042-797-4824

E-mail : hananoie@mnb.biglobe.ne.jp

<https://bowasumire.jp/>

